

2012 年度 文学部・人間科学部

授業評価に関するアンケート調査報告書

2013 年 3 月

文学部・人間科学部 FD 委員会

目 次

1. 調査実施の概要	1
2. 本報告書の構成	1
3. 2012年度授業評価アンケート回答者数 学科別・学年別（延べ人数）	2
4. 項目別アンケート集計結果	3
【設問 1】「講義要項」の内容は、科目履修選択の際に役立ちましたか。	3
【設問 2】授業は「講義要項」の内容通りに進められていますか。	4
【設問 3】教科書の指定やプリントの配布など、教材は適切に提供されていますか。	5
【設問 4】資料の示し方（OHP、コンピュータ、視聴覚教材などによるプレゼンテーション）は適切ですか。	6
【設問 5】先生の説明の仕方はわかりやすいですか。	7
【設問 6】先生の話し方は聞き取りやすいですか。	8
【設問 7】黒板の使い方（板書の仕方）は適切ですか。	9
【設問 8】私語や雑音等が無く、授業に集中できますか。	10
【設問 9】授業開始時刻は守られていますか。	11
【設問 10】授業終了時刻は守られていますか。	12
【設問 11】授業は学生の理解度に配慮しながら進められていますか。	13
【設問 12】授業で扱われている内容は興味をひくものですか。	14
【設問 13】先生は学生の質問や要望にきちんと対応していますか。	15
【設問 14】授業の難易度について、どのように思いますか。	16
【設問 15】授業内容の量について、どのように思いますか。	17
【設問 16】成績の評価基準は明確にされていますか。	18
【設問 17】授業に対する先生の準備・計画性について、以下のどれが当てはまりますか。	19
【設問 18】授業に対する先生の熱意について、以下のどれが当てはまりますか。	20
【設問 19】この授業を総合的に評価すると、以下のどれが当てはまりますか。	21
【設問 20】あなたのこの授業への出席率はどれぐらいですか。	22
【設問 21】あなたは、どれぐらい熱心にこの授業をきいていますか。	23
5. 集計結果全体のまとめ	24

1. 調査実施の概要

1999 年秋に発足した文学部 FD 委員会は、2000 年度から毎年、授業に関するアンケート調査を実施し、報告書を取りまとめている。

2010 年度に新たに人間科学部が創設されるとともに、文学部の改組が行なわれたが、今年度までは文学部・人間科学部でそれぞれ開講されている授業に旧カリキュラムの科目が残っており、文学部・人間科学部両方の学生が受講する科目が存在する。したがって、FD 委員会では今年度も昨年度同様に人間科学部と文学部が合同でアンケート調査の実施および集計を行うこととした。

これまで文学部と人間科学部では各教員の自発性を尊重しつつアンケートを実施してきた。しかし、今年度の第 2 回 FD 委員会（5 月 22 日）で、アンケート調査の義務化が提案された。その後、各学科に持ち帰り、意見を集約し、第 3 回 FD 委員会（6 月 12 日）で検討した結果、今年度からは、基本的に全教員にアンケート調査を実施してもらうことで合意した。また、第 2 回 FD 委員会において、今年度から「授業評価に関するアンケート調査報告書」を HP 上で公開することで合意した。第 3 回 FD 委員会で、アンケート調査実施スケジュールおよび作業分担の確認を行い、アンケート内容・実施要領の最終確認を行った。アンケート調査については、調査の継続性を重視し、今年度も 2005 年度から実施しているマークシート方式で、昨年度と同じ調査項目で実施することとした。

9 月 25 日（火）の文学部教授会および人間科学部教授会において、今年度のアンケート調査の概要を報告し、10 月 9 日（火）の文学部教授会および人間科学部教授会において、アンケート調査の実施依頼を行った。10 月 10 日（水）から 11 月 13 日（火）にアンケート調査を実施した結果、90 名の教員と、延べ 4886 人の学生の協力を得ることができた。マークシートの読み取りと各質問項目に関する度数分布の作成、および授業ごとの集計結果の作成については、文学部・人間科学部教務課の協力のもと、FD 委員会各委員が分担して行い、授業期間中である 12 月上旬にアンケートの個別集計結果を実施教員に返却し、授業改善の資料として活用していただいた。

来年度の FD 委員会への申し送り事項としては以下の 3 点があげられる。

- ①授業評価アンケート実施方法の検討（アンケート項目・実施期間・配布方法など）。
- ②授業評価アンケート実施率向上のための方策の検討。
- ③文学部と人間科学部による合同調査の検討。

本報告書作成にあたり、調査にご協力いただいた文学部・人間科学部教員および文学部・人間科学部教務課各位にお礼を申し上げる。

2. 本報告書の構成

まず、学科別・学年別のアンケート回答者数を集計した。次に、アンケート項目ごとに回答分布を数値と円グラフで示し、集計結果を記した。また、当該項目にあてはまる自由記述回答（個人的なものではなく全体に関するもののみ）を抜粋して掲載した。最後に集計結果全体の傾向についてまとめた。

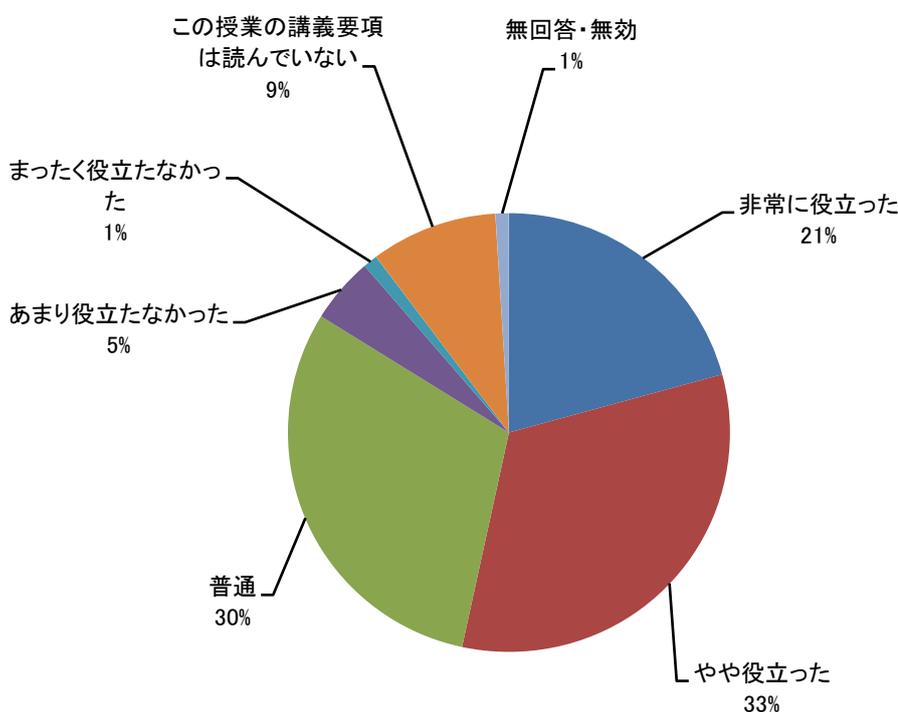
3. 2012 年度授業評価アンケート調査学科別・学年別回答者数（延べ人数）

学科 \ 学年 (入学年度)	1 年次 (12年度)	2 年次 (11年度)	3 年次 (10年度)	4 年次 (09年度)	5 年次 以上	不明	合計
日本語日本文学科	0	0	0	44	12	3	59
日本語学科	70	155	126	0	0	2	353
日本文学文化学科	144	218	115	0	0	4	481
英語英米文学科	149	326	277	44	9	4	809
人文学科	0	0	0	43	18	5	66
哲学科	77	65	63	0	0	4	209
歴史学科	122	237	196	0	0	4	559
環境地理学科	78	105	27	0	0	3	213
人文・ジャーナリズム学科	159	154	109	0	0	7	429
心理学科	113	323	88	4	5	3	536
社会学科	219	299	274	0	0	5	797
経済学科	11	20	10	17	0	0	58
国際経済学科	0	8	4	4	0	1	17
法律学科	0	1	0	3	0	0	4
政治学科	0	0	1	0	0	0	1
経営学科	8	6	10	3	0	1	28
マーケティング学科 (商業学科を含む)	14	23	13	5	1	0	56
会計学科	2	0	3	2	0	0	7
ネットワーク情報学科	4	7	3	2	0	0	16
不明	3	7	0	1	0	177	188
合計	1173	1954	1319	172	45	223	4886

4. 項目別アンケート集計結果

【設問1】「講義要項」の内容は、科目履修選択の際に役立ちましたか。

	非常に役立った	やや役立った	普通	あまり役立たなかった	まったく役立たなかった	この授業の講義要項は読んでいない	無回答・無効	合計
人数(人)	1013	1596	1489	236	51	453	48	4886
割合(%)	21	33	30	5	1	9	1	100

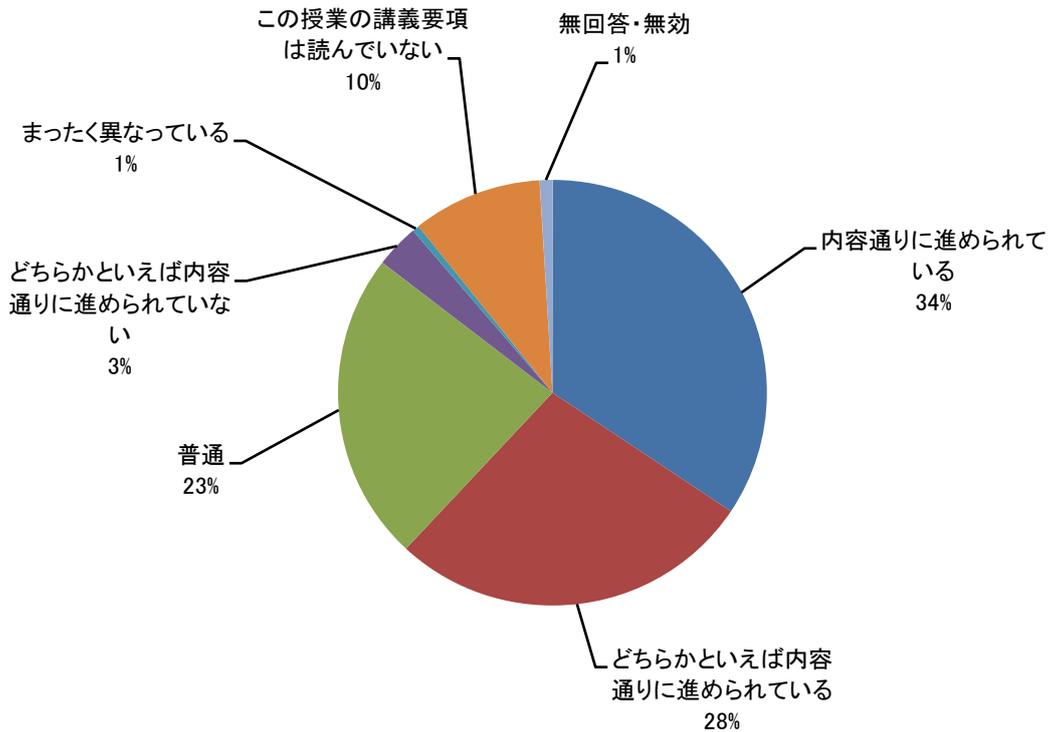


[集計結果]

この設問は、アンケートを実施した授業が必ずしも毎年一致しているわけではないので単純な比較はできないが、「非常に役立った」「やや役立った」の合計は54%であり、昨年度(53%)とほぼ同じで、一昨年度(50.9%)よりやや増加している。ただし、講義要項(シラバス)を読まずに、受講している学生が1割近くいることは憂慮すべきである(昨年度は9.1%)。

【設問 2】授業は「講義要項」の内容通りに進められていますか。

	内容通りに進められている	どちらかといえば内容通りに進められている	普通	どちらかといえば内容通りに進められていない	まったく異なっている	この授業の講義要項は読んでいない	無回答・無効	合計
人数（人）	1681	1345	1149	161	26	477	47	4886
割合（％）	34	28	23	3	1	10	1	100

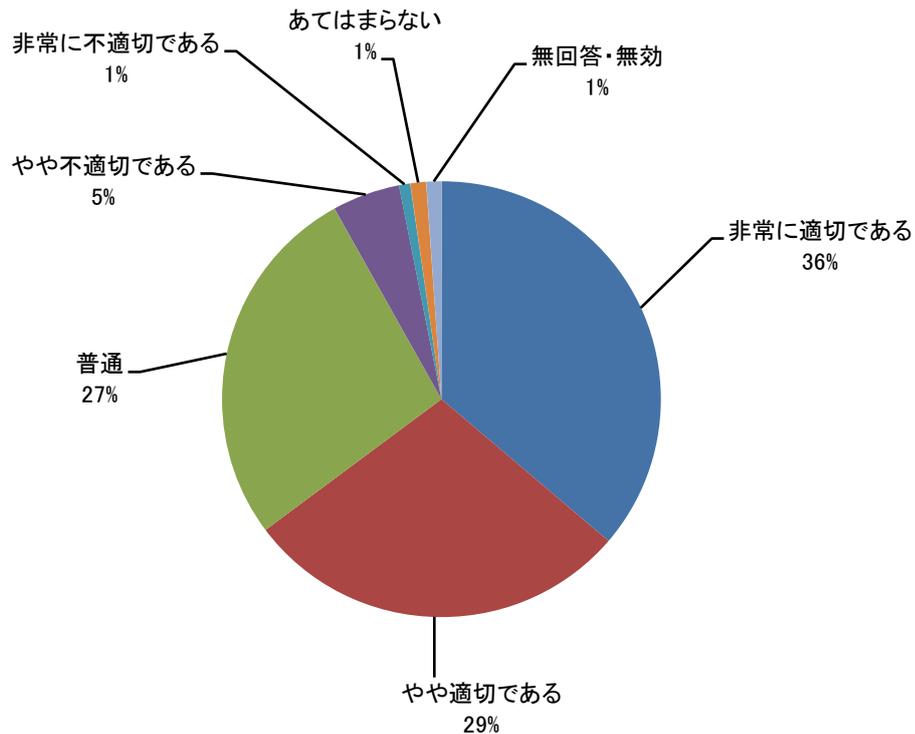


[集計結果]

「内容通りに進められている」「どちらかといえば内容通りに進められている」の合計は 62% であり、昨年度 (62.6%) および一昨年度 (62%) とほぼかわらない。やはり、講義要項 (シラバス) を読まずに、受講している学生が 10% いる点は注意を要する (昨年度は 10.2%)。

【設問3】教科書の指定やプリントの配布など、教材は適切に提供されていますか。

	非常に適切である	やや適切である	普通	やや不適切である	非常に不適切である	あてはまらない	無回答・無効	合計
人数（人）	1771	1394	1326	243	41	57	54	4886
割合（％）	36	29	27	5	1	1	1	100



[集計結果]

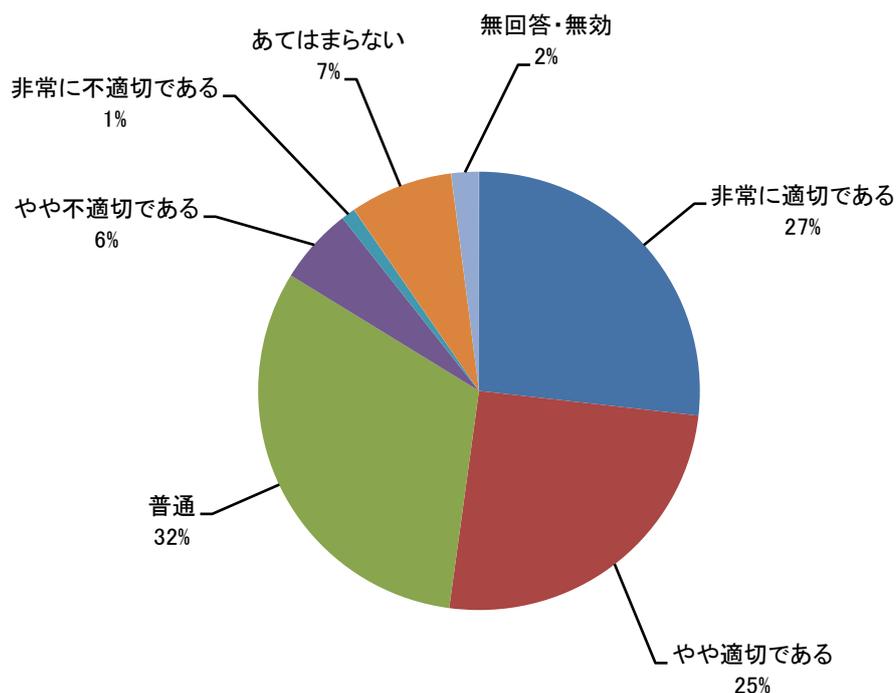
「非常に適切である」「やや適切である」の合計は 65%であり、昨年度（66.5%）および一昨年度（64.5%）とほぼかわらない。

[自由記述回答より]

- ・パワーポイントの資料をレナシティにアップしてもらえると助かります。
- ・授業内容に関する参考文献をたくさん紹介してくれるので、自分が興味を持ったところを調べられると思いました。
- ・配布資料をできればよりコンパクトにしてほしいです。

【設問4】資料の示し方（OHP、コンピュータ、視聴覚教材などによるプレゼンテーション）は適切ですか。

	非常に適切である	やや適切である	普通	やや不適切である	非常に不適切である	あてはまらない	無回答・無効	合計
人数（人）	1310	1238	1547	274	50	368	99	4886
割合（％）	27	25	32	6	1	7	2	100



[集計結果]

「非常に適切である」「やや適切である」の合計は 52%であり、昨年度（55.5%）および一昨年度（53.5%）と大きな変化はみられない。

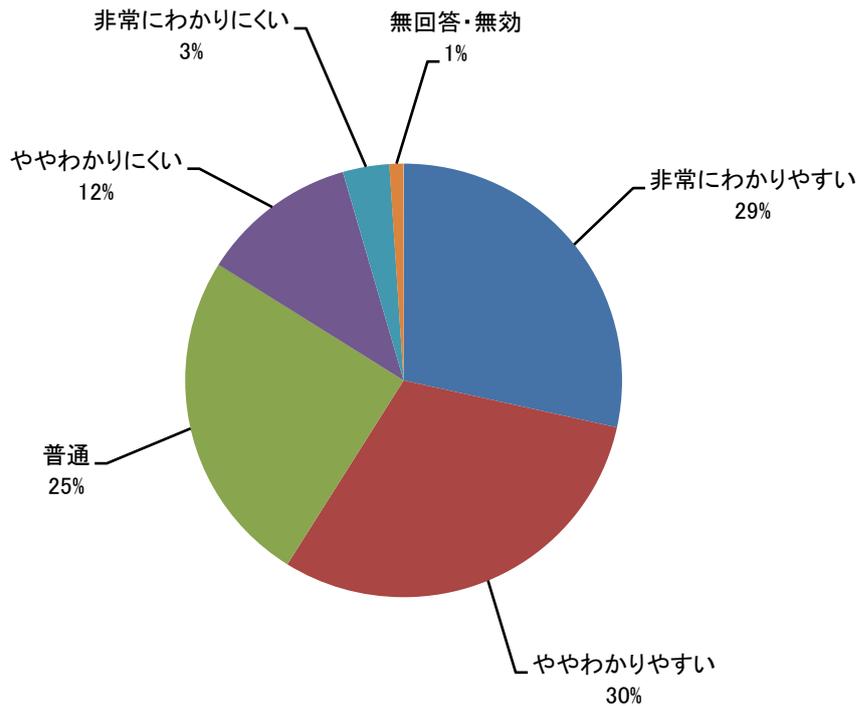
また、「やや不適切である」「非常に不適切」の合計は 7%であり、これも昨年度（7%）および一昨年度（7%）と同じである。

[自由記述回答より]

- ・動画を使用する点は分かりやすくよかった。
- ・スライドが早すぎてノートがとれず困ってしまう。
- ・パワーポイントを使った後などに電気を消したまま板書での授業を進めないでほしい。

【設問 5】先生の説明の仕方はわかりやすいですか。

	非常にわかりやすい	ややわかりやすい	普通	ややわかりにくい	非常にわかりにくい	無回答・無効	合計
人数（人）	1391	1488	1223	565	168	51	4886
割合（％）	29	30	25	12	3	1	100



[集計結果]

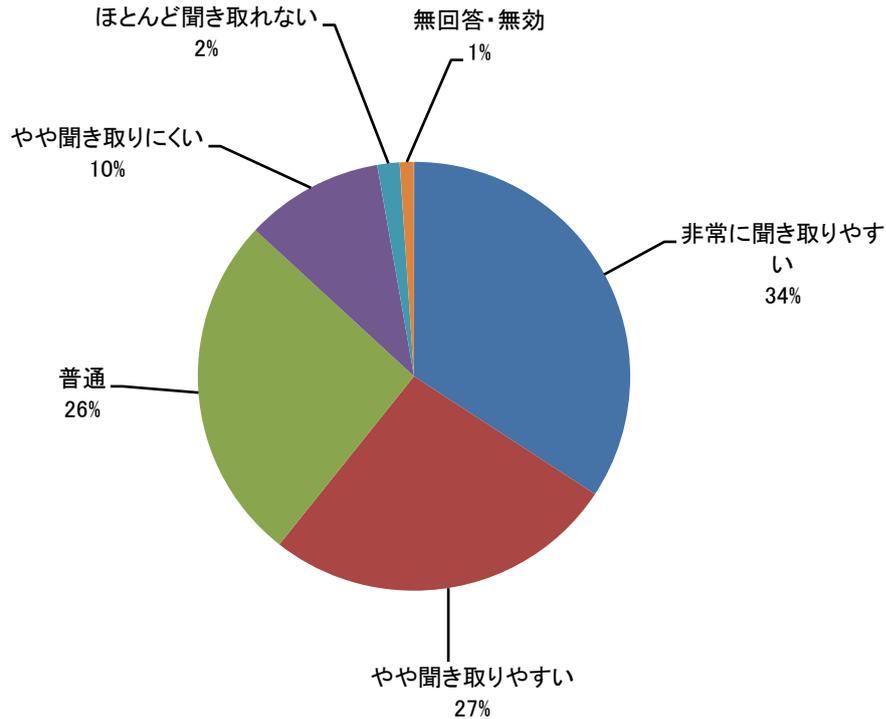
「非常にわかりやすい」「ややわかりやすい」の合計は 59%であり、昨年度（60.1%）および一昨年度（58.9%）とほぼかわらない。一方で「非常にわかりにくい」「ややわかりにくい」の合計は 15%であり、昨年度（13%）および一昨年度（12.5%）よりやや増加している点は注意を要する。

[自由記述回答より]

- ・先生の言い回しがユニークで記憶に残ります。
- ・毎回授業のはじめに前回の復習をしてくださるのがとてもありがたいです。
- ・対話形式の授業は新鮮で面白いです。
- ・生徒に質問し、答えていく方式なので、時間がたっても記憶している場合が多くてとても良いと思います。
- ・授業内容のアウトラインを示してもらいたい。

【設問 6】 先生の話し方は聞き取りやすいですか。

	非常に聞き取りやすい	やや聞き取りやすい	普通	やや聞き取りにくい	ほとんど聞き取れない	無回答・無効	合計
人数（人）	1673	1292	1281	507	81	52	4886
割合（％）	34	27	26	10	2	1	100



【集計結果】

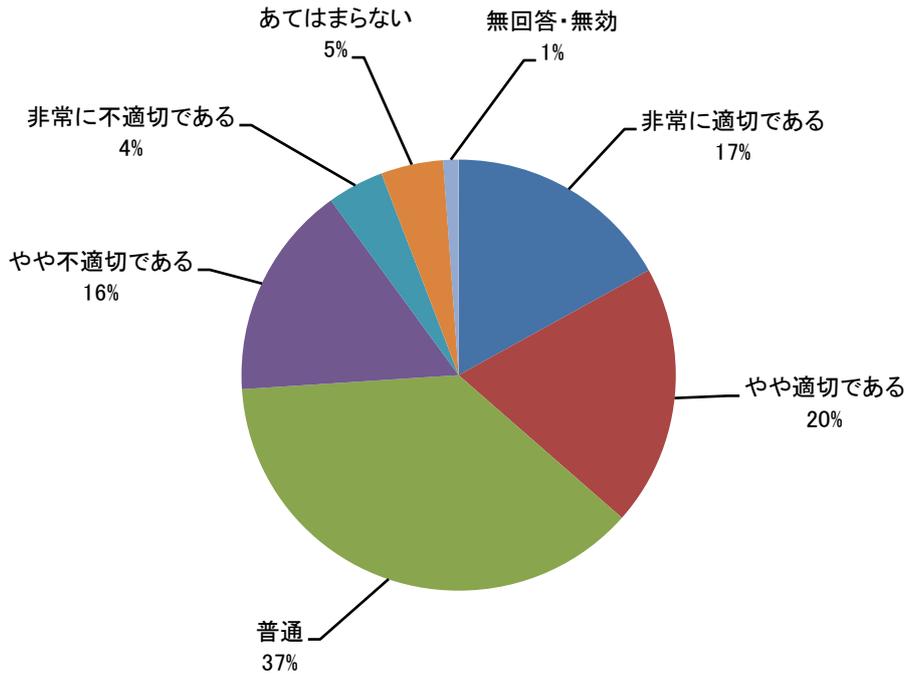
「非常に聞き取りやすい」「やや聞き取りやすい」の合計は 61%であり、昨年度（62%）および一昨年度（63.4%）とほぼかわらない。しかし、「やや聞き取れない」「ほとんど聞き取れない」と回答している学生が 12%おり、昨年度（12%）および一昨年度（10.2%）から減っていない点は注意を要する。

【自由記述回答より】

- ・マイクのスイッチを OFF にしていると聞き取りにくい。
- ・最後のまとめをノートに書きまとめたいので、もう少しゆっくり話してほしいです。

【設問 7】 黒板の使い方（板書の仕方）は適切ですか。

	非常に適切 である	やや適切 である	普通	やや不適 切である	非常に不適 切である	あてはま らない	無回答・ 無効	合計
人数（人）	826	956	1829	784	206	226	56	4883
割合（％）	17	20	37	16	4	5	1	100



[集計結果]

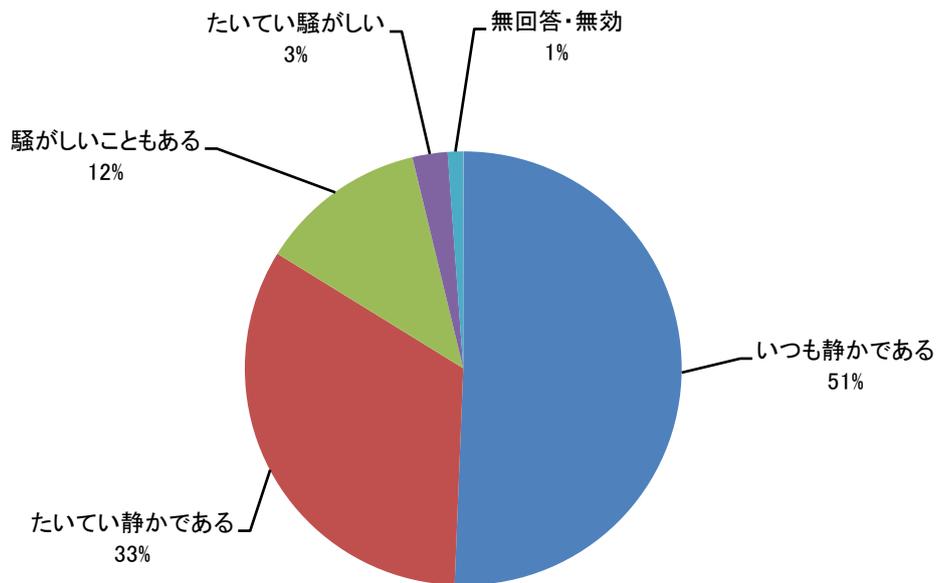
「非常に適切である」「やや適切である」の合計は 37%であり、昨年度（38.4%）とかわらないが、一昨年度（34.8%）よりはやや増加している。しかし、「非常に不適切である」「やや不適切である」の合計は 20%であり、昨年度（14.3%）および一昨年度（18.1%）より増加している点は憂慮すべきである。

[自由記述回答より]

- ・黒板の使い方が非常に分かりにくい。すぐ消してしまったり、あちらこちらに書いたりしてよくわからない。
- ・漢字をあまり略字で書かないでほしい。
- ・黒板をしっかりと消してから次に移ってほしいです。
- ・板書が薄すぎる。

【設問 8】 私語や雑音等が無く、授業に集中できますか。

	いつも静かである	たいてい静かである	騒がしいこともある	たいてい騒がしい	無回答・無効	合計
人数（人）	2474	1623	606	127	56	4886
割合（%）	51	33	12	3	1	100



[集計結果]

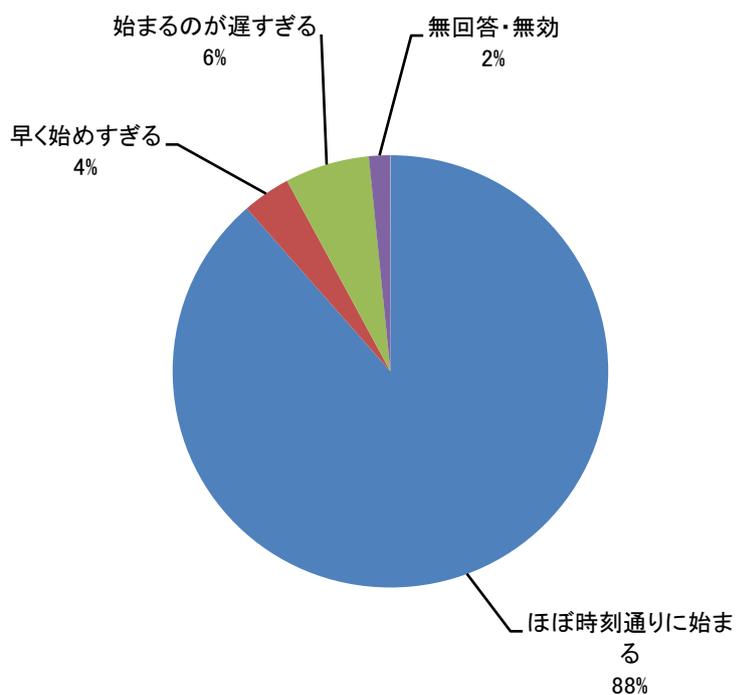
「いつも静かである」「たいてい静かである」の合計は 84%であり、昨年度（83.5%）とほぼかわらないが、一昨年度（78.2%）より増加している。また、「騒がしいこともある」「たいてい騒がしい」の合計は 15%であり、昨年度（15.5%）とほぼかわらないが、一昨年度（21.4%）より減少している。

[自由記述回答より]

- ・授業中、私語がなく、とても静かなので、集中して聞くことができ、たいへん良いです。
- ・ときどき、騒がしくて話が聞き取れないときがあるので、注意してほしいです。

【設問 9】 授業開始時刻は守られていますか。

	ほぼ時刻通りに始まる	早く始めすぎる	始まるのが遅すぎる	無回答・無効	合計
人数（人）	4327	175	307	77	4886
割合（％）	88	4	6	2	100

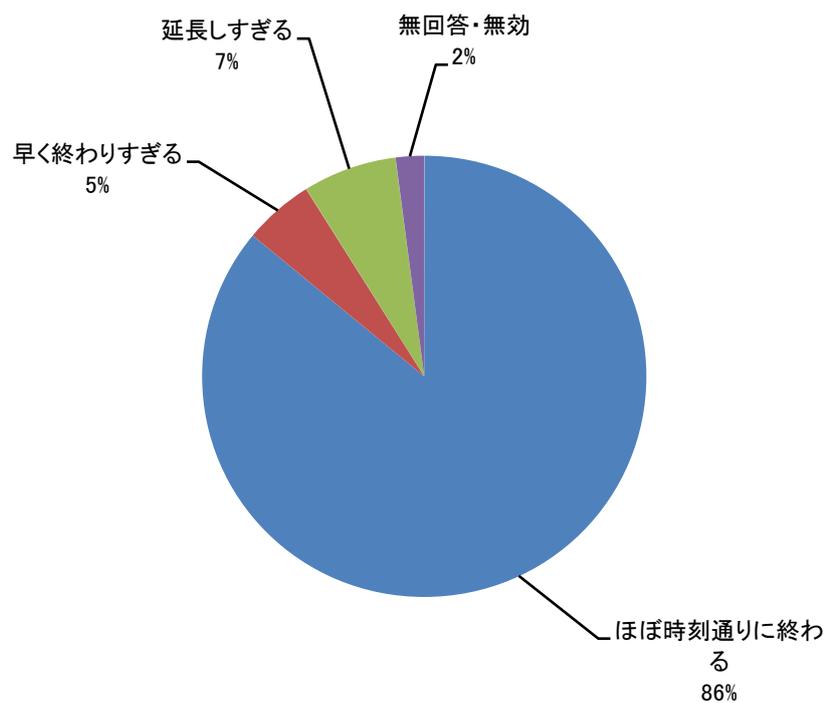


【集計結果】

「ほぼ時刻通り始まる」は88%であり、昨年度（87.8%）および一昨年度（87.7%）とほぼかわらない。

【設問 10】 授業終了時刻は守られていますか。

	ほぼ時刻通りに終わる	早く終わるすぎる	延長しすぎる	無回答・無効	合計
人数（人）	4202	249	334	101	4886
割合（％）	86	5	7	2	100

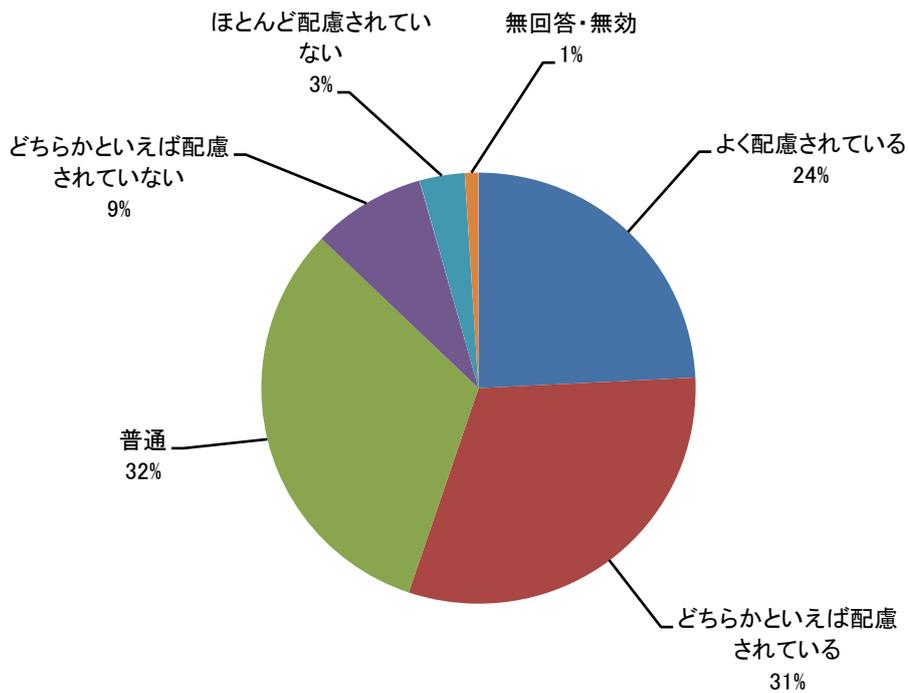


[集計結果]

「ほぼ時刻通り終わる」は86%であり、昨年度（86.1%）および昨年度（87.1%）とほぼかわらない。

【設問 11】 授業は学生の理解度に配慮しながら進められていますか。

	よく配慮されている	どちらかといえば配慮されている	普通	どちらかといえば配慮されていない	ほとんど配慮されていない	無回答・無効	合計
人数（人）	1183	1514	1562	413	165	49	4886
割合（％）	24	31	32	9	3	1	100



[集計結果]

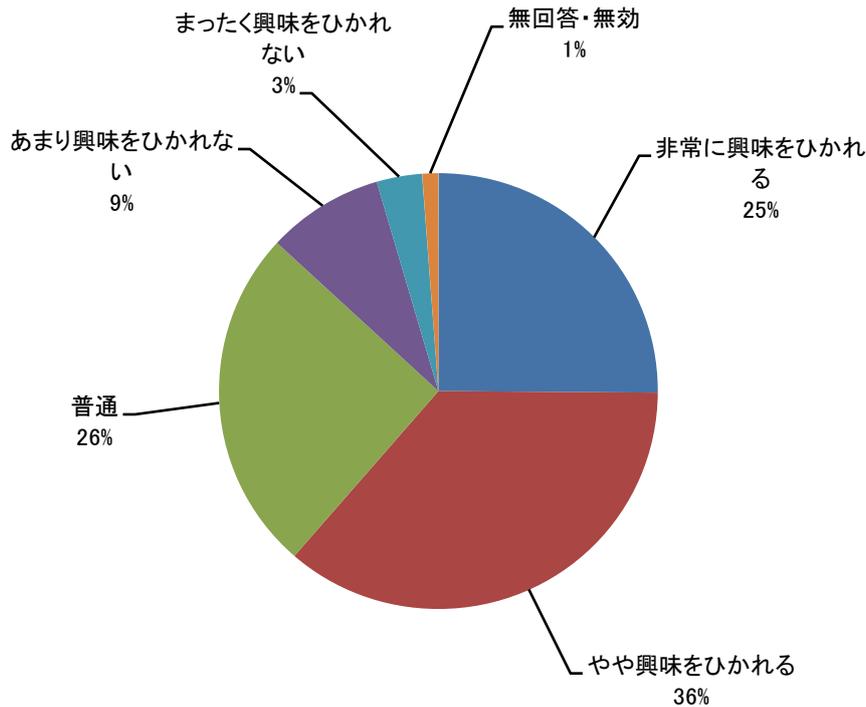
「よく配慮されている」「どちらかといえば配慮されている」の合計は 55%であり、昨年度 (54.4%) とほぼかわらないが、一昨年度 (51.7%) よりやや増加している。ただし、「どちらかといえば配慮されていない」「ほとんど配慮されていない」と感じている学生が 12%いる点は注意すべきである (昨年度は 10.6%)。

[自由記述回答より]

- ・ 難解な面もありますが、そこを先生がうまくリカバリーしてくれますので、理解度が深まります。あと、生徒に逐一、質問して自発性を深めているのも良いです。
- ・ 前・後期で授業が分かっているにもかかわらず、前期に受けなかった生徒の考慮があまりされていない気がする。

【設問 12】 授業で扱われている内容は興味をひくものですか。

	非常に興味をひかれる	やや興味をひかれる	普通	あまり興味をひかれない	まったく興味をひかれない	無回答・無効	合計
人数（人）	1227	1771	1247	419	164	58	4886
割合（％）	25	36	26	9	3	1	100



[集計結果]

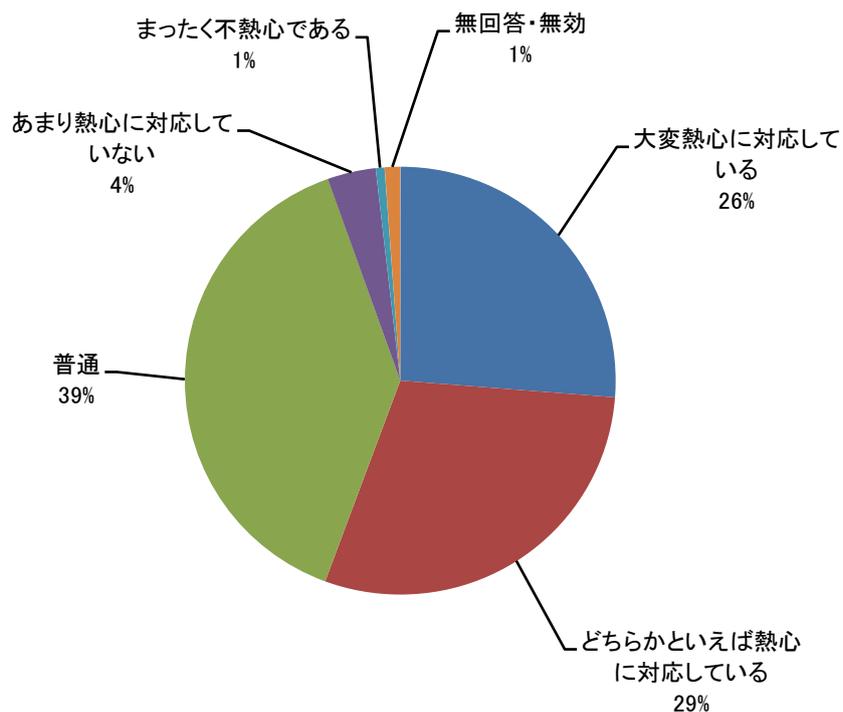
「非常に興味をひかれる」「やや興味をひかれる」の合計は 61%であり、昨年度（61.3%）とほぼかわらないが、一昨年度（58.2%）よりやや増加している。また、「あまり興味をひかれない」「まったく興味をひかれない」の合計は 12%であり、昨年度（11.4%）および一昨年度（13.0%）とほぼかわらない。

[自由記述回答より]

- ・ 私たちの普段知りたくても知り得ない所を授業で詳しく教えてくださり、様々な現象を丁寧に説明して下さるので楽しいです。
- ・ 先生の話は大変興味深く、自分と違った価値観から様々な話をして下さるので面白いです。
- ・ 従来の常識とされてきたものに対する新たな知見が示されるのはたいへん興味深い。

【設問 13】 先生は学生の質問や要望にきちんと対応していますか。

	大変熱心に対応している	どちらかといえば熱心に対応している	普通	あまり熱心に対応していない	まったく不熱心である	無回答・無効	合計
人数（人）	1282	1437	1901	177	32	57	4886
割合（％）	26	29	39	4	1	1	100



[集計結果]

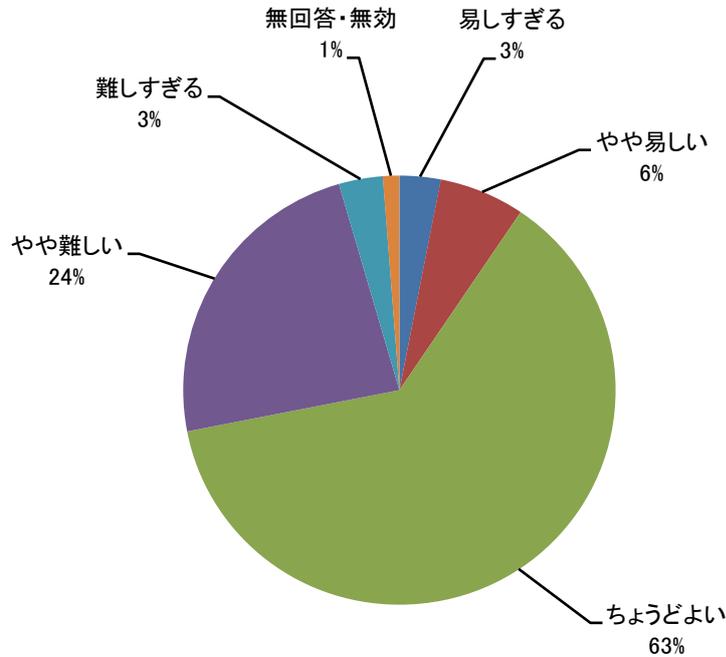
「大変熱心に対応している」「どちらかといえば熱心に対応している」の合計は 55%であり、昨年度（56.1%）および一昨年度（53.2%）とほぼかわらない。

[自由記述回答より]

- ・ 質問を出席カードに書いているのですが、それに答えてくれる機会がない。
- ・ リスポンスペーパーで、生徒からの質問に答えてほしい。

【設問 14】 授業の難易度について、どのように思いますか。

	易しすぎる	やや易しい	ちょうどよい	やや難しい	難しすぎる	無回答・無効	合計
人数（人）	150	312	3052	1151	161	60	4886
割合（％）	3	6	63	24	3	1	100



[集計結果]

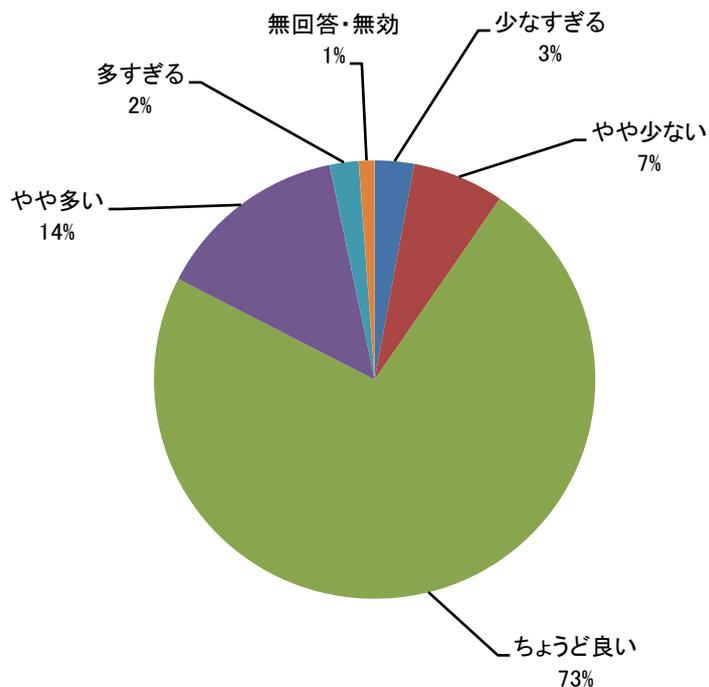
「ちょうどよい」が63%であり、昨年度（60.3%）および一昨年度（59.7%）よりやや増加している。ただし、「やや難しい」「難しすぎる」と感じている学生は27%であり、昨年度（28.9%）および一昨年度（30.5%）から減少傾向にあるが、依然として約3割を占めている点は注意を要する。

[自由記述回答より]

- ・専修大学のレベルを上げるなら、これくらいの授業負荷は適切であると思います。

【設問 15】 授業内容の量について、どのように思いますか。

	少なすぎる	やや少ない	ちょうど良い	やや多い	多すぎる	無回答・無効	合計
人数（人）	141	327	3568	690	103	57	4886
割合（％）	3	7	73	14	2	1	100

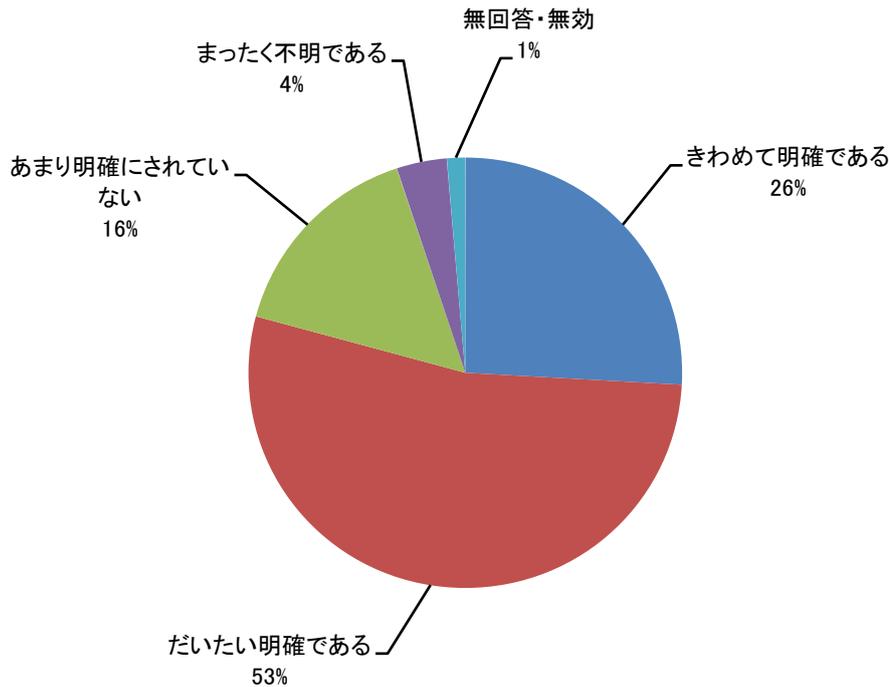


【集計結果】

「ちょうどよい」が73%であり、昨年度（70.8%）および一昨年度（69.1%）よりやや増加傾向にある。

【設問 16】 成績の評価基準は明確にされていますか。

	きわめて明確である	だいたい明確である	あまり明確にされていない	まったく不明である	無回答・無効	合計
人数（人）	1265	2606	765	183	67	4886
割合（％）	26	53	16	4	1	100



[集計結果]

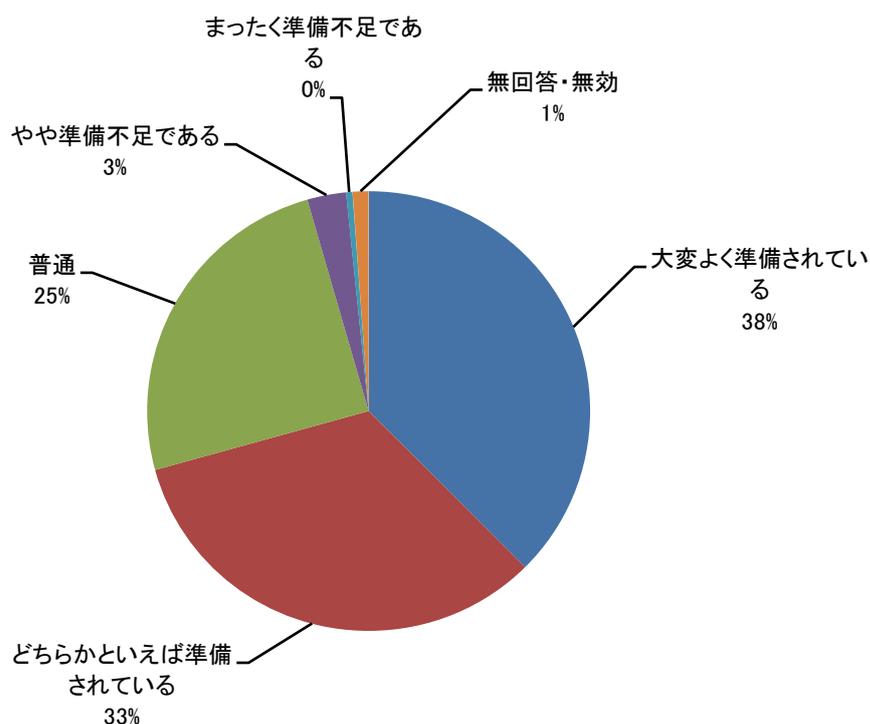
「きわめて明確である」「だいたい明確である」の合計は 79%であり、昨年度（78.5%）とほぼかわらないが、一昨年度（76.6%）よりやや増加している。ただし、「あまり明確にされていない」「まったく不明である」と回答している学生が 20%いる点は注意を要する（昨年度は 20.2%、一昨年度は 22.6%）。

[自由記述回答より]

- ・ 成績の評価が平等なので、一つ一つの課題に対して意識を高くもって取り組みます。
- ・ もうすこし評価に差をつけても良いと思います。

【設問 17】 授業に対する先生の準備・計画性について、以下のどれが当てはまりますか。

	大変よく準備 されている	どちらかといえば 準備されている	普通	やや準備不 足である	まったく準備 不足である	無回答・ 無効	合計
人数（人）	1834	1620	1214	138	23	57	4886
割合（％）	38	33	25	3	0	1	100%



[集計結果]

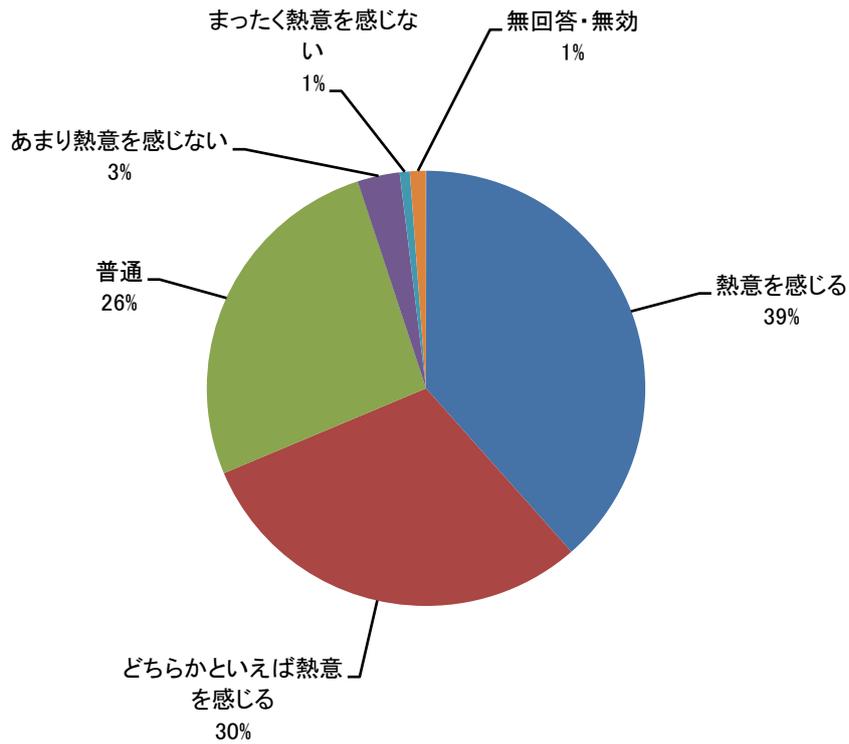
「大変よく準備されている」「どちらかといえば準備されている」の合計は 71%であり、昨年度（72.1%）および一昨年度（71.9%）とほぼかわらない。

[自由記述回答より]

- ・ 授業内容が 1 回ごとに区切られていて、次の週に流れ込まないため、毎回新し興味を持って、おもしろい。

【設問 18】 授業に対する先生の熱意について、以下のどれが当てはまりますか。

	熱意を感じる	どちらかといえば熱意を感じる	普通	あまり熱意を感じない	まったく熱意を感じない	無回答・無効	合計
人数（人）	1881	1473	1286	152	36	58	4886
割合（％）	39	30	26	3	1	1	100%



[集計結果]

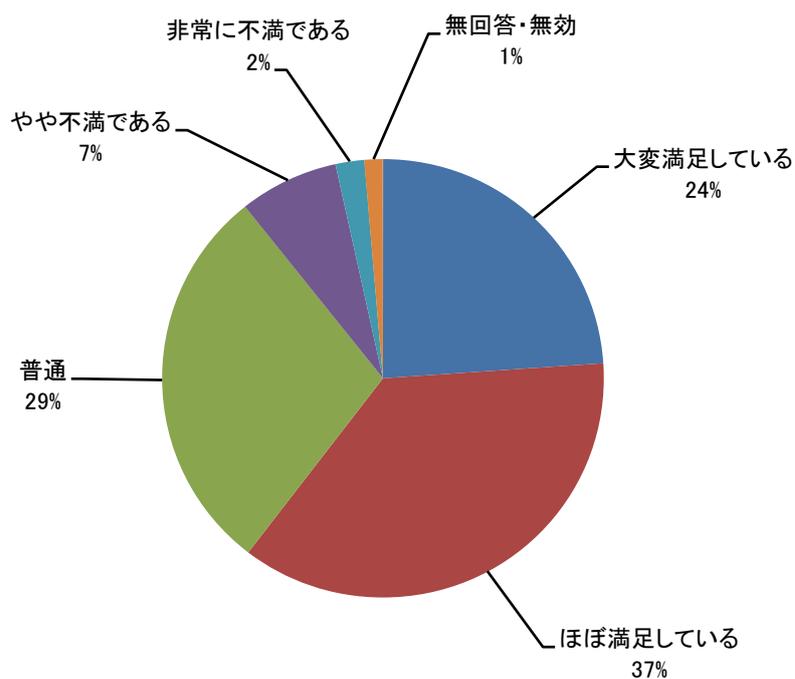
「熱意を感じる」「どちらかといえば熱意を感じる」の合計は 69%であり、昨年度（68.5%）および一昨年度（68.8%）とほぼかわらない。

[自由記述回答より]

- ・説明に熱意があって良いと思います。

【設問 19】 この授業を総合的に評価すると、以下のどれが当てはまりますか。

	大変満足している	ほぼ満足している	普通	やや不満である	非常に不満である	無回答・無効	合計
人数（人）	1168	1784	1411	354	103	66	4886
割合（％）	24	37	29	7	2	1	100

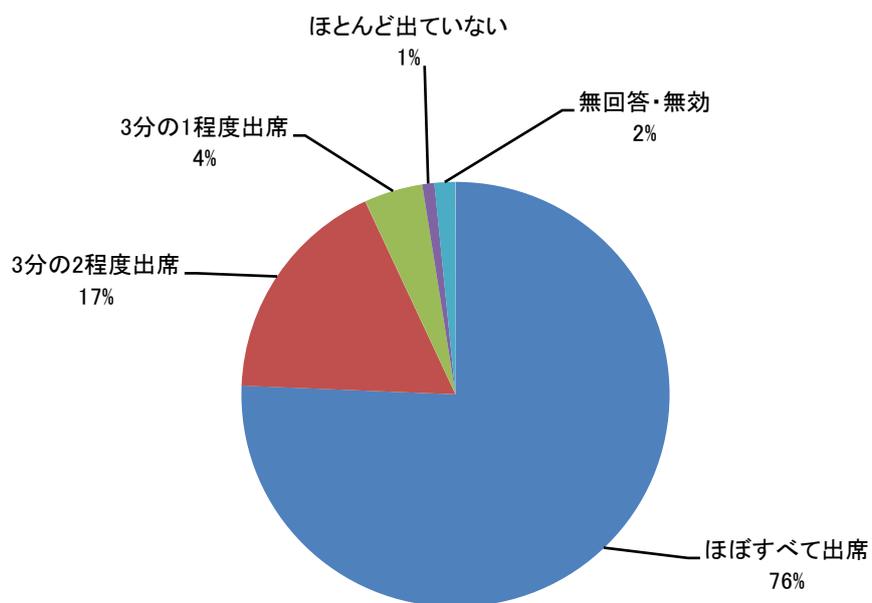


【集計結果】

「大変満足している」「ほぼ満足している」の合計は 61%であり、昨年度（60.6%）および一昨年度（59.3%）とほぼかわらない。

【設問 20】 あなたのこの授業への出席率はどれぐらいですか。

	ほぼすべて出席	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出ていない	無回答・無効	合計
人数（人）	3696	852	217	44	77	4886
割合（％）	76	17	4	1	2	100

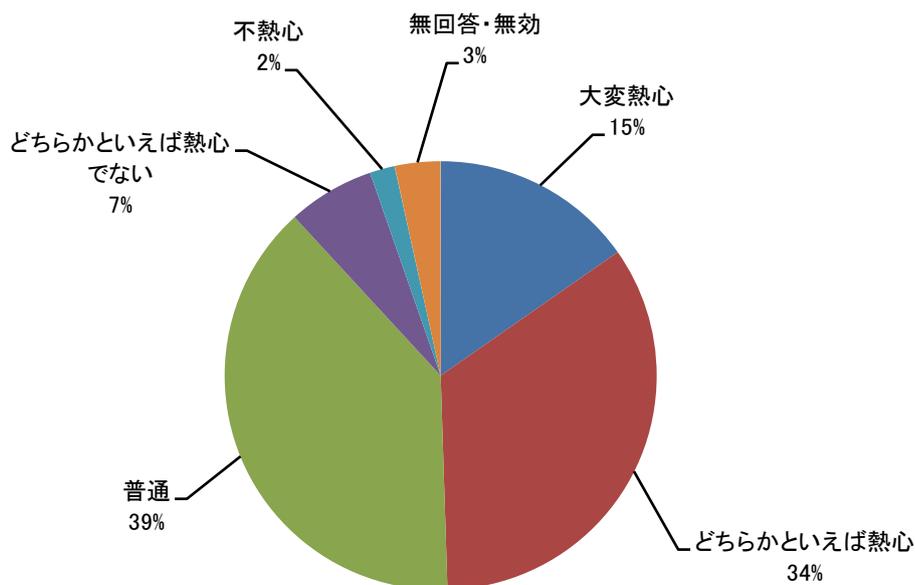


【集計結果】

「ほぼ全て出席」が76%であり、昨年度（74.7%）および一昨年度（74.0%）とほぼかわらない。「3分の2程度出席」についても17%であり、昨年度（18.5%）および一昨年度（19.4%）とほぼ同じである。

【設問 21】 あなたは、どれぐらい熱心にこの授業をきいていますか。

	大変熱心	どちらかといえ ば熱心	普通	どちらかといえ ば熱心でない	不熱心	無回答・ 無効	合計
人数（人）	745	1673	1892	317	92	167	4886
割合（％）	15	34	39	7	2	3	100



【集計結果】

「たいへん熱心」「どちらかといえれば熱心」の合計は 49%であり、昨年度（50.9%）とほぼかわらないが、一昨年度（44.5%）より増加している。

【自由記述回答より】

- ・自分の学びたい分野に当てはまっている授業なので、一生懸命取りくんでいきたいです。

5. 集計結果全体のまとめ

今年度の全体的な傾向をみると、昨年度と大きな変化はみられなかった。それでも、2項目（設問14・15）において、昨年度より若干の改善がみられ、7項目（設問1・7・8・11・12・16・21）において、一昨年度との比較から、近年、改善傾向にあると認められる。これに対し、明らかに悪化している項目は認められなかったことから、全体としてはおおむね良い傾向にあると考えられる。ただし、以下の7点については、今後、さらに改善していくべき項目として、注意を要する。

- ①講義要項（シラバス）を読まずに、受講している学生が約1割近くいる（設問1・2）。
- ②授業の説明が分かりにくいと感じている学生が15%いる（設問5）。
- ③授業が聞き取りにくいと回答している学生が12%いる（設問6）。
- ④黒板の使い方が不適切と回答している学生が20%いる（設問7）。
- ⑤授業が学生の理解度に配慮されていないと感じている学生が12%いる（設問11）。
- ⑥授業が難しいと感じている学生が3割いる（設問14）。
- ⑦成績評価基準が明確でないと回答している学生が2割いる（設問16）。

これらの7項目については、とくに今年度から悪化したというわけではなく、昨年度および一昨年度とほぼ同じ傾向を示している。いいかえると、なかなか改善しにくい部分であるともいえる。とくに、上記②③④の項目は各教員の個性・特徴とも関連する部分であるだけに、早急な改善は難しいと思われるが、これらを意識して授業を行うことは重要であろう。自由記述回答でも、板書に関するものが依然として多くみられる。また、上記⑤と⑥の項目は相関関係にある可能性が高いと考えられる。大学教育において、一定水準以上の授業レベルを維持しなければならないことはいうまでもないが、プレゼンテーションの方法を工夫することによって、改善の余地はあると思われる。受講生の学年に合わせた授業内容・方法について、さらに検討する必要もあるだろう。設問11の自由記述回答にみられるように、前期と後期に授業が分かれている場合、片方のみを受講する学生への配慮も必要となる。上記⑦の成績評価基準が明確でないとという回答は、①の講義要項を読まずに受講している学生が一定数いることとも関連するだろう。ガイダンス等で講義要項の確認を徹底する必要がある。

以上

（文学部・人間科学部FD委員会）